



京信のシニアサポート

歳を重ねても安心して暮らせる地域に



01
高齢者サポート
地域包括
支援センター

02
認知症
マッチング
カフェを
開催



03
地域に広げよう
健康経営の輪!

04
修学院支店
新築 OPEN!

05
京都信用金庫の
就労型
インターンシップ!

二十一世紀を迎えた今、日本は総人口の28.4%が65歳以上という「超高齢社会」を迎えています。

京都信用金庫は地域のさまざまな団体と連携し、ご高齢のお客様が安心して暮らせるまちづくりの実現に取り組んでいます。

日常業務の中でご高齢のお客様と継続的にお会いする機会がある金融機関であるからこそ、お客様の変化に気付くことができます。

日頃からお客様に寄り添うことでその変化に気付けるよう努めてまいります。

高齢者サポート



地域包括支援センターと連携しています。

地域包括支援センターとは、地域で暮らす高齢者を介護、福祉、健康、医療の面から総合的にサポートするために作られた公的な施設です。全国に市町村が定める日常生活圏ごとに設置されており、各種専門家が各専門分野の視点から連携し、介護だけでなく、日常の生活に関する相談にも柔軟に応じてくれます。当金庫では日々お客様と顔を合わせる職員がお客様のお困り事や変化に気づき、必要に応じてセンターをご紹介しますことで、安心して暮らせるまちづくりをサポートしています。

お声かけ
ください



ご高齢者に寄り添うプロジェクト 高槻支店

高槻支店では、地域包括支援センターの方々と一緒にセミナーを開催したり、『認知症サポーター養成講座』の受講をご案内し、地域全体でご高齢者に寄り添っていくための活動をしています。



※ 認知症の人や家族、支援者、一般の人がリレーをしながら、一つのタスクをつなぎゴールを目指すイベント

※ RUN伴への参加



地域包括支援センター紹介コーナーの設置



健康づくり体操教室の実施

認知症 マatchingカフェ 開催

2025年、日本の高齢者の5人に1人は認知症になると予測されており、地域共生社会の実現に向けて“認知症の方も自分らしく暮らせるまちづくり”の重要性が更に高まっています。「マatchingカフェ」は、そんなまちづくりの一環として、認知症の方と企業や地域の人が直接交流し、意見交換を行うイベントです。

参加された
事業者の声



私は「まちづくり屋さん」です！

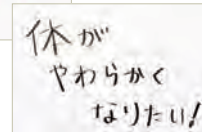
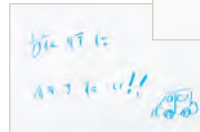
株式会社フラットエージェンシー
(不動産業)
吉田 光一様

私は不動産業の看板をあげていますが、やっていることはまちづくり屋さんですよとおっしゃる吉田氏。「世間では高齢者に対し、認知症のイメージを持つ方が多いため、90歳以上の方が住まい探しで困っておられるケースが多くあります。当社が一括借り上げて高齢者へサブリースすることで大家さんの懸念材料がなくなり、両者が WinWin の関係となっています。マatchingカフェに参加して、認知症の方々の前向きな姿に感動し、**地域の問題解決につながるヒントをいただいています**」と語られました。

第1回
2021年
12月 開催

「今後やってみたいこと」「叶えたい夢」を自由に語っていただきました！

とっても
ポジティブ！



当金庫では他にも色々な取組を行っています！

- 認知症サポーター養成講座
- ご高齢者の方々とのイベント
- ご高齢者向けのサービス・商品の開発 など



認知機能チェックのご案内

公認心理師による面談



「認知症外来を受診するまでではないが、最近物忘れが増えてきた」「認知症を予防したい」というお客様向けに、お手軽にご利用いただける「認知機能チェック」の取扱が始まりました。

- 日時：毎月第2・第4 木曜日
- 場所：京都信用金庫 本店3階
- 所要時間：30～40分
- 自己負担額：2,000円(税込)

※事前予約要 お取引いただいている店舗にお問い合わせください



担当の公認心理師が結果の説明を行います。内容はご本人にお伝えし、当金庫には開示されません。

京信の
本業
支援



地域に広げよう

健康経営®の輪！



当金庫は、役職員の健康増進と健康に関するリテラシーの向上を目指して、健康経営に取り組んでおり、「健康経営優良法人2022大規模法人部門『ホワイト500』」に認定されています。

今回は、取引先事業者様の「健康経営優良法人」認定取得に向けて取り組んだ壬生支店の事例をご紹介します。

「健康経営優良法人認定制度」

地域の健康課題に即した取組を特に実践している法人を顕彰する、経産省が創設した制度。

経営の
お悩み

働きやすい職場づくりを通じて、
従業員の負担を減らしたい！

当金庫取引先で、京丹波町に工場を構える寺田薬泉工業株式会社の寺田社長はこのような経営課題をお持ちでした。

- 通勤が不便で人材の確保が難しい
- 社員の残業問題

そこで、寺田社長が目を向けられたのは、「社員が働きやすく、ライフワークバランスを確保できる社内環境づくり」であり、それを見える化する「健康経営優良法人認定制度」にも注目されました。



寺田薬泉工業株式会社
代表取締役
寺田 保久 様

一事業内容—
試薬・工業薬品・化成品などの
製造販売、受託製造

認定取得の件を京信の石井さんに相談したら、京信さんの人材面や健康経営の取組を踏まえて、親身になって様々な提案をしてくれました。



同社丹波第二工場

1 プロジェクト方式で課題解決を目指す

同社は2021年にも「健康経営優良法人」の認定取得にチャレンジされましたが、惜しくも認定には至らず。それでも諦めない寺田社長や従業員の皆様の切実な想いに当金庫営業担当の石井が共感し、同社の課題を解決すべく、壬生支店で「健康経営プロジェクト」を立ち上げました。



主体となって取り組まれた
同社の従業員の皆様



2 経営課題に合わせた解決方法を一緒に考える

壬生支店のプロジェクトメンバーは、同社の従業員の方と「必ず認定をとる」という目標に向かって、認定取得の条件・流れや進捗状況などについてミーティングを重ねました。実際に京丹波町の工場も見学し、他社での取組も参考にしつつ、**同社の経営課題と強みを踏まえた提案をプレゼン**。同社の従業員様も真摯に取り組まれた結果、2022年度は念願の「健康経営優良法人」を取得できました！

3 健康経営の取組を未来につないでいく

従業員が安心して、楽しく働ける場所であり続けるために、寺田社長は一回の認証取得に満足せず、今後は福利厚生として従来の健康診断に加え、産業医面談の実施も視野に入れられています。



壬生支店 営業担当
石井 裕貴



壬生支店 接客チーフ
和田 祐梨乃

今回のプロジェクトでは関わった人全員が意見を出し合い、誰一人欠けても実現できなかったと思います！

「京信に相談したら何でも解決してもらえる」と感じていただけるよう今後も努めてまいります！

2022年
4月18日

修学院支店 新築OPEN!

修学院支店は皆様に愛されて半世紀。南向きで明るく、より心地よいスペースへ生まれ変わりました。



皆様のご来店をお待ちしております



待ち時間も快適に
お過ごしいただける
ロビー



お子様連れのお客様も安心
座面の長いソファです



7
年
前
か
ら
参
加

一乗寺の地域活性化・
おとなりさん同士のつながりを
目的とした街フェス
「一乗寺フェス」。

修学院支店は1971年に開設された51年目となる店舗です。
新店舗は落ち着いてお話ができる「ノーカウンター店舗」で、快適
にお過ごしいただける空間となっています。土曜日もご利用いた
だける全自動貸金庫を設置し、地域の皆さまからのご要望が多
かったバス停前ベンチもリニューアルしました。
今後とも地域に愛される店舗づくりを目指してまいります。

修学院支店

京都市左京区修学院大林町
2番地1
☎075-711-1101
窓口営業時間・・・平日9時～15時
ATM稼働時間・・・8時～21時

京都信用金庫の就労型インターンシップ!



人事部 採用担当
富樫 景勝

就労型インターンシップは、学生の方が働く意義や未来を
考え、新しい発見をしたり、また京信の理念や風土について
深く知っていただけるのが特徴です。
日常業務の基礎となる金融業務だけでなく、本部
での業務など、インターンシップを通して一緒に
地域を盛り上げていただきます。

大学4回生の時に参加した
京都信用金庫の
就労型インターンシップは
ほかとは一味違う体験が
できて、とても勉強に
なりました。



九条支店 河瀬 裕香

「就労型インターンシップ」には金融機関の仕事内容を知ること
だけでなく、職場の雰囲気を知るために参加しました。ATM
コーナーでのお客様のご案内、電話対応を行い、研修では
QUESTIONを訪れ、その役割を学びました。

QUESTIONでカレー作り!
京信らしいユニークな
インターンシップ!



お金を扱うだけに堅いイメージを持っていましたが、人
と人との出会いを大切にする場であることを知り、その
イメージを払拭でき、就職活動のモチベーションが上が
りました。実際に京信に就職した今の目標は、一日でも
早くお客様に「河瀬さんに頼んでよかった」と言ってもら
うことです。

インターンシップの
詳細はこちら



当金庫では今年度よりソーシャルマインドの醸成と持続可能な社会の実現を目指して「ソーシャルインターンシップ」を開始しました。
インターンシップ生は、QUESTION、ネクストコミュニティ共創部にて、金庫職員と一緒にソーシャルな取組を体験・創造しています。



Cスクエアバックナンバーはこちらからお読みいただけます！
[Click!](#)